

第 136 回微小光学研究会への協賛に関する報告

【正式名称】第 136 回微小光学研究会「材料を創る、活かすー適材適所の微小光学ー」

【開催日時】2015 年 5 月 26 日 10:00~20:00

【場所】早稲田大学 西早稲田キャンパス 55 号館 N 棟 1 階大会議室

【参加者】学生 41 名, [事前予約 35 名、当日参加 6 名]

【目的】計測系の研究室に所属する学生が多いという本 SC の特徴を踏まえ、微小光学研究会に協賛することで、微小光学の最前線で活躍している先生方のご講演を直接聴講する機会を提供する。また、懇親会への参加を促すことで、微小光学というトピックをベースとして、学生と学生のみならず学生と社会人の交流を実現し、学生が社会人研究者としての自分の将来像を明確に持つキッカケとする。

【内容・結果】

● 開会の挨拶

研究会の開会の挨拶として運営委員長である早稲田大学の中島啓幾教授がご挨拶された。その際、数分時間をいただき本 SC の代表である岡田が、スチューデントチャプターの意義、ならびに協賛の意義を参加者に説明した。[写真 1 参照]

● 講演の聴講

講演は午前の部・午後の部に分かれており、それぞれ参加者は 27 名、35 名であった。それぞれが興味のある講演を聴講していたが、講演者に質問をぶつける学生が見られなかったのが残念であった。

● 懇親会

公演終了後、場所を 55S 棟 2 階竹内ラウンジに移し懇親会が行われた。開始当初こそ学生同士で固まっていたが、社会人の方々のお気遣いもあり、後半は学生と社会人の垣根を超えた交流が行われた。特に気になる企業の方にアプローチする学生が多く見られた。



写真 1 開会の挨拶の様子



写真 2 看板



写真 3 講演の様子